

令和 6年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生涯学習推進課／文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	234,181,000円(令和6年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、あんしんつながりステーション、駐車場		

●利用状況

		R06 上半期	R05 下半期	R05 上半期	R04 下半期	R04 上半期
利用者数(単位:人)		61,331	73,492	59,377	58,933	51,051
各室稼働状況(%)	大研修室	80.2	78.9	75.7	75.9	78.5
	中研修室	85.9	90.6	87.0	88.2	85.3
	研修室50	78.5	91.2	81.9	85.9	87.6
	研修室30	90.4	90.6	90.4	90.0	85.3
	小研修室1	96.0	95.3	94.4	98.2	94.4
	小研修室2	86.4	90.6	85.9	90.6	84.2
	小研修室3	88.1	91.2	92.1	87.6	79.1
	小研修室4	93.2	93.6	91.5	95.3	94.9
	和室研修室1	23.7	23.4	13.0	29.4	16.9
	和室研修室2	77.4	78.4	73.4	82.9	70.1
	音楽スタジオ大	85.3	78.9	73.4	64.7	63.8
	音楽スタジオ小1	80.8	83.6	72.9	67.1	66.1
	音楽スタジオ小2	59.3	0.0	0.0	0.0	0.6
	パソコンルーム	72.9	74.9	71.8	78.8	74.0
クラフト室	67.2	66.1	61.6	64.1	54.2	

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報ぎふ、各種情報誌、ラジオ、SNSなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2. 男女共同参画推進業務 ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3. 市民芸術文化振興業務 ①参加・参画の促進 ～市民一人ひとり、誰もが主役の場づくり～ ②文化芸術を担う人材の育成、顕彰 ～人づくりと活躍の場づくり～ ③文化芸術施設の充実 ～誰もが使いやすい拠点づくり～ ④文化財・伝統文化の継承や活用 ～「岐阜」を伝える絆づくり～ ⑤文化芸術を生かしたまちの活性化 ～活力に溢れた地域づくり～ ⑥協働による文化芸術の推進 ～みんなで文化芸術を育てる社会づくり～	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①ハートフルレクチャー3講座開催、226人受講。ITコラボレーター会と協働のパソコン講座第1、2期開催、275人受講。 ②ボランティア講座1講座開催、38人受講。パソコン指導者養成講座1講座開催、113人受講。市民講師養成事業45人受講。市民自主講座開講支援事業23人受講。市民自主講座23講座開講。 ③地域貢献事業2イベント開催、にぎわい創出事業2公演を開催、1,700人参加。生涯学習・ボランティア通信誌の発行(Vol.94、95) ④市民活動ルームを運営(延べ1,917人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(531件の相談、73件のボランティアコーディネート)。広報ぎふボランティア通信5回掲載。 2. 男女共同参画推進業務 ①わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座を開催、延べ68人受講。 ②HP、インスタグラム、岐阜市女性センターYouTubeチャンネル等による情報発信、岐阜市防災備蓄用品や男女共同参画関連圖書の展示を実施。 ③ハートフルネットぎふ例会の開催や、男女共同参画週間事業にて講演会を開催。 ④面接・電話相談を実施、延べ相談件数602件(面接相談：145件、電話相談：457件)。あんしんつながりステーションを開設、延べ相談件数145件(面接相談：133件、メール相談：12件) 3. 市民芸術文化振興業務 ・岐阜市民文化祭の開催【①、②、③、④】 市民文化祭(美術展覧会・芸術祭・文芸祭)の開催に向けての準備・調整。美術展覧会では、その開催を告知する企画展を7月に開催した。また、今年は市民文化祭のいくつかの事業が国民文化祭の地域文化発信事業に位置づけられ、事業の調整や連携を行った。 ・岐阜市芸術文化協会との連携【①、②、④、⑥】 リレートーク、まちかどコンサート、広報紙の発行(7月)や岐阜子ども文化クラブ(2日間)を実施。 ・文化事業助成(岐阜市民芸術文化・スポーツ基金)【②、⑤、⑥】 上期応募6件中内定4件、下期応募9件中内定7件を選定。 ・岐阜市芸術文化奨励賞【②、⑥】 下半期に実施予定。
施設管理	日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者・危険物(自主点検) 法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) “(16・13項目)(年2回) “(12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回) 定期点検業務 ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備(総合)保守点検(年2回) ④空調設備(GHP)保守点検(年1回) ⑤自動扉保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回) ⑧パソコン及び周辺機器保守点検(年4回)	日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし 法定点検業務 ①7/30に実施 ②5/15、7/17、9/18に実施 ③毎週水曜日に実施 7/22に実施 9/24に実施 ④下半期に実施 ⑤下半期に実施 ⑥9/13～27に実施 ⑦5/7、7/3、9/24に実施 ⑧下半期に実施 ⑨下半期に実施 ⑩下半期に実施 ⑪下半期に実施 定期点検業務 ①保全点検：4/30、7/30に実施 リモート点検：毎月実施 ②4/30、5/28、6/25、7/30、8/27、9/24に実施 ③6/25に実施 ④6/25に実施 ⑤6/25、9/24に実施 ⑥下半期に実施 ⑦7/30に実施 ⑧7/30、9/24に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報に関する法律及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなどをしている。 ③関係法令を順守し、運営されている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>実施期間: 4/12~18、5/13~19、6/4~10、7/12~18、8/2~8、9/11~17 アンケート総数: 281件</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○利用した部屋は 大研修室 2.1%、中研修室 6.2%、研修室50 5.5%、研修室30 8.9%、小研修室1 17.8%、小研修室2 12.0%、小研修室3 9.2%、小研修室4 9.9%、和室研修室1 3.8%、和室研修室2 7.5%、音楽スタジオ大 5.8%、音楽スタジオ小1 5.1%、音楽スタジオ小2 1.4%、クラフト室 4.1%、パソコンルーム 0.7%</p> <p>○スタッフの対応について 満足 85.6%、やや満足 6.8%、ふつう 7.2%、やや不満 0.3%、不満 0.0%</p> <p>○施設や設備の管理状況(整理整頓、壊れた個所の有無など) 満足 78.4%、やや満足 13.4%、ふつう 7.9%、やや不満 0.3%、不満 0.0%</p> <p>○全体的な満足度 満足 84.6%、やや満足 8.6%、ふつう 6.8%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・空調の効きが悪い。(大研修室) →ご不便をおかけしました。 すぐに職員が空調を確認しましたが、問題なく使用できるようです。 空調の効きが悪いと感じられる場合は、お気軽にスタッフまでお知らせください。 なお、各部屋にも空調の設定変更ができるリモコンが設置されておりますので、設定温度や風量、風向の調整が可能です。</p> <p>・長机の幕板が外れていました。(研修室30) →ご指摘ありがとうございます。 すぐに確認し、外れていた幕板を補修しました。</p> <p>・ホワイトボードがきれいに消してありませんでした。そのままにしてみました。(小研修室1) →この度は、ご不快な思いをさせ申し訳ございませんでした。 すべての利用者の方に、退室時に部屋を原状復帰いただくようお願いしております。 また、スタッフによる清掃点検を再度徹底します。</p> <p>・机の前垂れが2カ所外れていました。確認してください。(小研修室3) →ご指摘ありがとうございます。 前垂れが外れているのを確認し、通常通り使用できるよう修理しました。ご迷惑をおかけいたしました。</p> <p>・Wi-Fiがない。(小研修室4) →貴重な意見ありがとうございます。 現在は、一部の研修室(大研修室・中研修室・研修室50)で、Wi-Fiの利用が可能です。 今後すべての部屋でWi-Fiが使用できる環境を検討します。</p> <p>・扉の音が気になります。ギーという音。(音楽スタジオ大) →ギーという音が出ないように、扉の調整を行いました。 今後は、点検を強化し快適な環境を提供できるよう努めます。</p> <p>・譜面台が10台ほどあるとありがたいです。(音楽スタジオ大) →ご意見ありがとうございます。 早速、音楽スタジオ(大)の譜面台を10台に増やしました。ぜひご利用ください。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
	区分評価					A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	S	S	S
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	A	A	A
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	A	A	A
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	S	S
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	A	A	A
区分評価					A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	管理経費削減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きく離れていないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	S	S	S
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、閉館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
区分評価					A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか	S	S	S
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理業務を行っていく上での方針と具的方策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民協働推進部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	A	A	A
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエアG内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>●生涯学習／女性／センター</p> <p>指定管理仕様書・事業計画書及び市の方針に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設の運営・管理と事業展開を行った。</p> <p><施設管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの要望を基に、改善できるところはないか検討し、以下のような改善を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi環境の整備 研修室30、小研修室1・2・3・4を対象とした貸出備品としての無線アクセスポイントの整備 ・休憩スペースの椅子増設 利用前の待合用や熱中症対策の休憩場所としても利用できる椅子を増設 ・音楽スタジオ小1 環境整備 部屋が臭う原因であったカーペットの張替 ・大研修室 音響設備の改修 音響設備の操作をしやすくようにミキサーを改修 ・事故防止対策として、定期点検の他、日常的に施設・設備の点検を行い、危険箇所や要修繕箇所の早期発見と、迅速な対応を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・照明設備 器具不良箇所のLED化(共用部廊下、西階段、図書館分館、研修室50、小研修室) ・消防設備修繕 自動火災報知設備感知器取替、誘導灯予備バッテリー取替 ・給排水設備 トイレ手洗い自動水栓センサー取替、小便器ピストンバルブ取替、汚水ポンプ詰まり修繕 ・その他 体育ルーム テラス 雨漏り修繕(雨水が集まる谷樋の経年劣化により、正常に排水されず雨漏りが発生) →施設内の同様箇所の一斉点検を実施。他に雨漏りは認められなかったが、今後は定期点検を強化するとともに計画的な修繕を行う。 ・光熱水料費が高騰する中、利用者へ協力を求め、無理のない範囲内で、日常的に以下のような省エネ対策に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備 冷房時の設定温度範囲を制限 利用状況に応じた効率的な空調機器の使用 扇風機やサーキュレーター併用 ・電気設備 必要のない場所のこまめな消灯 契約電力を抑えるため、特定の時間帯に電力消費が集中することを避ける(機械換気の起動時間の分散化) ・各種安全マニュアルに基づき、安全・安心な施設運営に努め、今期も大きな事故やケガなどはなかった。 ・利用者の安全・安心を最優先とした上で、業務の効率化や調達コストの最適化、省エネ対策の推進を図り、可能な限り経費縮減に努めた。 <p><リスク対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月当初の職員研修において、防災士の資格を有する職員を中心に、災害時の対応について「危機管理マニュアル」「帰宅困難者対応マニュアル」を基に共通理解を図った。また、避難訓練やカーエレベーターの閉じ込め救出訓練を実施し、緊急時の対応強化を図った。 ・8月の南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)の発表を受け、施設・設備の臨時点検を実施するとともに、「危機管理マニュアル」に基づき災害時における配備体制を再確認し、有事に備えた。 ・防犯対策として、防犯カメラでの監視や警備員の巡回に加え、職員が日常的に館内を巡回した。また、不審者情報等をハートフルスクエア-G全体で共有するとともに、警察とも連携を図ることで、事故を未然に防ぐことができた。 事例:・トイレでの閉じこもり ・便器へ異物の投入 ・自由通路での喫煙等迷惑行為 ・大声で怒鳴る等の迷惑行為 ・駐車場カーエレベーター内において、物損事故が1件発生し、駐車場の利用を一時中止し、緊急点検および応急処置等の迅速かつ適切な対応を実施したことで、利用者への影響を最小限にとどめることができた。 ・危機管理の上で、夜勤では不審者対応として必ず男性職員を配置した。また、日勤でも副所長以上の職員を必ず1人は配置し緊急事態に備えた。 ・“応急手当協力事業所”登録施設として、職員がAEDを的確に使用できるよう普通救急救命講習を受講し、施設内のみならず、駅周辺での急病人や負傷者の応急手当や救急隊到着までの応急措置を行っている。 ・個人情報保護・情報セキュリティ研修を受け、個人情報保護担当者を配置し、情報漏えいや不適切な情報発信が起きないよう個人情報管理の徹底を図った。メール誤送信対策として従来のメールセキュリティ対策ソフトウェアに加え、送信前に二重確認を確実に行うことができるソフトウェアを導入している。 ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習/女性/センターの主催講座及び市民自主講座、文化振興事業は、岐阜市の「長良川大学」講座に位置づけられており、令和6年度上半期には生涯学習:18講座、市民自主講座:23講座、女性センター:2講座、文化振興事業:16講座・7公演・1事業を実施した。 ・快適な公共空間を提供するためアダプト・プログラムに参加、ハートフルスクエア-G全体で施設周辺の美化に努めた。 ・館内のにぎわい創出の一環として、中央階段前の吹き抜け部分に全職員が協力して季節に合わせた装飾を行った。(例:桜吹雪、紫陽花とカサ、ひまわりと太陽等) ・インスタグラムを活用したイベント紹介や講座募集情報、展示紹介等を積極的に行い、タイムリーな情報発信に努めた。 ・JR岐阜駅周辺施設と連携し、「小学生のための社会に役立つお仕事体験」として夏休み期間中に小学生16名を受入れ、公共施設の役割を学ぶ機会を設けた。
--------------------------	---

今期の取組み
に対する評価

<実施事業>

●生涯学習センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術推進基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、岐阜市における生涯学習の啓発・推進に努めた。
生涯学習センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。なお、生涯学習、文化振興各系の講座は「長良川大学」講座として実施した。

◇生涯学習係

生涯学習拠点施設として機能の充実に励み、誰もがいつでも自らを磨き、学びの成果を生かせる環境づくりに取り組んだ。さらに、今期は資格取得だけでなく、研修会への参加や他施設の事業視察を積極的に行い、生涯学習施設職員としての専門性を高めた。

・生涯学習へのきっかけと現代的課題・地域課題の解決に向けた学習機会の充実

講座事業において、学習機会の充実のために「大規模災害からの生活再建」といった地域課題の解決に向けた題材や、「山登り」や「温泉」、「信長」といった身近で話題性のあるテーマを題材に実施することで、市民の多様なニーズに対応し、高い満足度を得ることができた。また、多様な場面において関係機関・団体との連携を図ることで、各事業内容の充実と学習機会の拡充を図った。

・ハートフルレクチャー

「山登りを趣味にする～山の魅力と注意点～」

ウェルビーイングの実現に向け、金華山や百ヶ峰など登山に適した山が多数ある特徴を生かし、地域に根ざした健康づくりを提案した。あわせて、山登りには危険が伴うことを再認識してもらうため、中警察署の協力を得て、金華山における事故発生地点を記したチラシを配布した。その他にも健康づくり課と協力し、クアオルト®健康ウォーキング事業の紹介を行った。

「温泉講座～温泉めぐりをもっと楽しむために～」

自然現象としての温泉の生い立ちから、各地の温泉文化について学ぶとともに、全国有数の温泉地でもある岐阜の温泉の特徴を知り、地域の魅力を再発見する機会を提供した。また、岐阜市長良川温泉旅館協同組合や三田洞神仏温泉の協力を得ることで、幅広い情報発信に努めた。

・「パソコン講座」(第1期・第2期)

パソコン技術を習得した市民による「岐阜ITコラボレーター会」と協働でパソコン講座(12講座85回)を実施し、ワードやエクセル、パワーポイントなどの基礎的な知識や技能を学ぶ場を提供した。また、参加者の要望を受け、個別の質問に応じる「IT相談会」を2回実施した。

・地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の育成

・市民自主講座の開講支援

令和6年度は50名の市民講師が講座を開講し、そのうち23講座の開講に繋げた(R5年度48講座開設・18講座開講)。また、「開講説明会」を実施するとともに、講師の不安を解消するため、個別相談に応じるなどきめ細やかな対応を心がけた。

・市民講師ステップアップ講座

講座「大規模災害からの生活再建を学ぶ」

大規模災害発生後、生活を再建するための知識を持つ人材を地域に養成するため、“支援制度とその活用方法”や“活用の注意点”を学ぶ場を提供した。また、講師が作成した「被災者生活再建カード」を使ったワークショップ形式を取り入れることで、より実践的な内容とした。

展示「岐阜市の防災備蓄用品」

同時期に防災関連の講座を実施する女性センターと協力し、市都市防災政策課と連携した展示を実施した。防災トイレットの展示や防災アプリの紹介等を行った。

・パソコン指導者養成講座

「パソコン指導力レベルアップ!(全7回)」

地域で活動しているパソコン指導者や、これから指導を始めようとしている人を対象に、ワード・エクセル・パワーポイントの指導の仕方、セキュリティ対策の知識、指導者としての心構えなどを学ぶ場を提供し、市民講師としての活動を支援した。

・ボランティア講座

(中高生対象)「中高生の挑戦～私から社会へ～(全2回)」

中高生を対象に、講演会「私がつなぐ震災の記憶」と体験活動「武将隊による“おもてなし”を体感」など9種を提供し、岐阜市のボランティアの底上げに繋げた。さらに今年度は、地域の現状を知り、市民活動やボランティア活動に取り組むきっかけを提供するため、岐阜大学の協力を得て、学生が様々なテーマで地域課題を取材して作成した壁新聞を講座期間中に展示した。

・生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信

・地域貢献事業

「FC岐阜 岐阜市ホームタウンデー」

FC岐阜や岐阜市市民スポーツ課と協力し、チームのエンブレムが入った応援バッチを制作するブースを出展し、地元のイベントを盛り上げた。

「市民芸術祭・演劇の部『ぎふ演劇シーズン2024キックオフイベント』」

演劇シーズンの周知と文化芸術に親しむ市民の裾野を広げるため、パネル展示と参加劇団によるトークイベントをぎふメディアコスモスで開催した。

・にぎわい創出事業

展示「発掘された岐阜城～「宮殿」と称された信長公居館の姿～」

岐阜のシンボルとも言える「岐阜城」は、市民の関心が非常に高く、関連講座は毎回好評を得ていることから、埋蔵文化財調査事務所と連携し、パネル展示を実施した。また、あわせて金華山の模型を展示することで、岐阜城とその城下町の様子をわかりやすく紹介した。

展示「第76回岐阜市美術展覧会 企画展『岐阜で活躍する美術家たち』」

文化芸術に親しむ市民の裾野を広げ、生涯学習としての文化芸術への“興味関心”を高めるため、文化振興係(岐阜市美術展実行委員会)と連携した展示を行った。

・生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援

・生涯学習・ボランティア相談コーナーでは、きめ細やかな対応に心がけ、昨年度の上期と比べ、来館での相談件数118%(301→356)に増加した。(相談件数(全体)531件)

・岐阜市地域情報システム「まなバンク」を運営し、市民に対して岐阜市内で活動しているサークルや市民活動団体、市民講師の情報を公開し、生涯学習やボランティアなどの情報発信に努めた。

・「生涯学習・ボランティア通信誌」vol.95、vol.96を発行し、「講座案内」に加えて、「講座レポート」や「活動レポート」を充実させ、講座や活動に参加できなかった市民に対して情報を共有した。

・社会貢献活動をしている個人を取材し、広報ぎふボランティア通信欄で紹介することで、地域の社会貢献や福祉活動への関心を高めた。(上半期5名紹介)

・生涯学習・ボランティア相談担当職員のスキルアップのため、新たに職員3名がボランティアコーディネーション3級を取得した。また「岐阜市ボランティア・NPO窓口連絡会」に参加するとともに、日常から市内にボランティア窓口をもつ施設・団体と交流を行い、円滑に協力できる体制を整えた。

・社会教育主事講習(主催 文部科学省)のカリキュラムの中で、講習実施機関である岐阜大学からの依頼により、当施設が演習の場として組み込まれた。生涯学習拠点施設としての事業運営や施設管理についての講話および施設案内を行い、生涯学習の実践について学ぶ機会を提供した。

今期の取組み
に対する評価

◇文化振興係

・岐阜市民文化祭の開催

岐阜市民文化祭では、美術展、文芸祭、芸術祭という3つの独立した事業が、それぞれの特色を生かしながらも、連携して事業展開を進めている。また、職員が他の展覧会や公演にも積極的に参加し、そこで得た最新のアイデアやトレンドを事業に生かしている。こうした取り組みにより、常に新しい視点を取り入れ、市民に質の高い文化体験を提供している。

・岐阜市民芸術祭

・演劇の部実施事業「ぎふ演劇シーズン2024」には5劇団が参加。さらに、演劇部会に所属する4劇団が「清流の国ぎふ」文化祭2024に参加する。演劇シーズンの周知と文化芸術に親しむ市民の裾野を広げるため、キックオフイベントとしてパネル展示と参加劇団によるトークイベントをぎふメディアコスモスで開催した。

・岐阜市文芸祭

・一般の部の申込方法にハガキでの申し込みに加え、岐阜市のLogoフォームを活用し、DX化を推進した。その結果、申込者の4割がフォームを利用した。
・FC岐阜の岐阜市ホームタウンデーにおいて、職員がポスターを前後に掛け、屋台村を練り歩くなどして、文芸祭の出品PRを行った。
・一般の部の応募人数は昨年度比175% (934→1,638) となり、応募点数は昨年度比153% (2,105→3,227) に増加した。
・小・中学生の部については、岐阜市立小中学校教頭会・岐阜市小中学校国語部会・中央青少年会館サタデースクールでPRを行った。

・岐阜市美術展覧会

・初の試みとして、企画展と本展の内容や日程を掲載したチラシを作成した。
・FC岐阜の岐阜市ホームタウンデーにおいて、美術展のPRを行った。
・これまで岐阜県美術館に要項等は設置していたが、それに加え、県や県教育文化財団を通じて、ぎふ美術展の期間中、出口にチラシや要項を設置した。
・2会場での開催を広くPRするため、市庁舎やぎふメディアコスモス西側歩道のガードレールに横断幕を設置した。また、市民会館にはのぼりを設置した。
・昨年の広告掲載業者に加え、新たな企業の開拓を行い、掲載依頼先が1件増加した。

・岐阜市芸術文化協会との連携

岐阜市の芸術文化の創造・発展・保存などへの寄与を目的とする岐阜市芸術文化協会と連携し、各種事業を開催。市民の芸術文化活動の促進及び芸術文化団体との情報交流により、新たな協働による芸術文化の振興に取り組んだ。

・子ども文化クラブ

小・中学生(幼稚園児)や保護者を対象とした講座16講座と、「ようこそ！ ワクワク♡ドキドキ 夏祭りだあ〜！！〜ホテルをさがそう〜」をテーマに、無料ワークショップを開催。ワークショップでは夏祭り会場に見立てやぐらを組み、その周りに草むらを作りペーパークラフトのホテルを放った。その他にも割りばしで作った射的、ペーパークラフトの金魚つり、ヨーヨーつり、うちわやオリジナル缶バッジの作成を実施した。

・リレートーク

「楽しく笑って元気になれる己書の不思議な魅力と可能性を知っていますか？」(6月)
筆ペンを使って少しのコツをつかめば誰でもすてきな作品が描ける己書。その己書で色々な繋がりが生まれ、可能性も膨らんだ。書いて楽しく笑顔になれる己書の不思議な魅力と可能性を学んだ。

「岐阜市の国際交流と音楽」(9月)

岐阜市は、オーストリアのウィーン市マイドリング区、イタリアのフィレンツェ、中国の杭州市と姉妹都市交流を行い、東京オリンピック以来、スロヴァキアとの交流を進めている。「スコラズ岐阜」は、以上の国々との音楽による文化交流をしており、お話とビデオによって、その歩みを学んだ。

・まちかどコンサート

「第1回まちかどコンサート」(8月)

協会会員の岐阜県邦楽三曲会 筑紫会・筑紫やよいの会・岐阜市立藍川北中学校、ダンス ハバナ、現代邦楽会みさと笛 岐阜雅の会、Dance Creation RUKA、長良西オカリナクラブによる演奏会を開催し、当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出した。

・「市文協ニュース」の発行

7月に発行。協会の活動を紹介するとともに市民文化祭等の多様な芸術文化に関する情報を掲載し、広く市民に情報提供を行った。

・「ぎふ市民劇 道三 一斎藤道三の半生」開催に向けた取り組み

「清流の国ぎふ」文化祭2024において、岐阜市の地域文化発信事業として令和6年11月4日に実施。公演に向け、演劇、合唱、オーケストラ、邦楽、洋舞、邦舞のそれぞれの出演者が練習を重ねた。

・自主企画事業の実施

・文化事業助成

上半期に4団体の活動に助成を実施。周年事業の団体や新たに活動を始めたサークルからの申請と助成がみられる。下半期には9団体の申請に対し、制度の趣旨に沿った事業であるか審査を行い、7団体への助成を決定した。また、市の文化活動のさらなる振興を図るため、取り扱い指針の見直しを行い、今後は門戸を広げることとした。

・芸術文化奨励賞

初の試みとして令和5年度受賞者のPR動画を作成し、ハートフルスクエアG及び岐阜市役所に設置されているモニターにて随時放送した。これにより受賞者の魅力を多くの市民に伝える新たな試みが実現した。また、受賞者の岐阜新文化会(美術・イラスト)が、9月にハートフルスクエアGで展示を行った。

今期の取組み
に対する評価

●女性センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき事業を企画・実施。必要に応じて、所管課と協議を行いながら、岐阜市における男女共同参画社会の啓発・推進に努めた。女性センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。なお、女性センター主催講座は「長良川大学」講座として実施した。

・学習機能

・ わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座

「大切な人を守る防災～避難所運営でわたしができること～(全3回)」

多様な分野に女性が参画できるよう、「防災」に焦点をあてた講座を実施した。被災地の現状を知り、女性が抱える課題を知るとともに、防災分野における固定的な性別役割分担意識を見直す機会とした。また、女性の視点から安心安全な避難所運営を自分事として捉えられるよう、毎回ワークを通して学ぶ場を提供した。市都市防災部都市防災政策課と連携することで、災害時に役立つ岐阜市情報の入手方法やアプリの活用方法を知る機会を得た。

・交流機能

・男女共同参画週間事業

「ハイヒールを履いた僧侶西村宏堂さんが語る～私が好きな私で生きていいんだ～」

一人ひとりの性を尊重できる社会を目指し、「LGBTQ+」をテーマとした講演会を開催した。僧侶兼メイクアップアーティストとして世界的に活躍し、LGBTQ+当事者である西村宏堂氏を講師に招き、多様な性への理解と自分自身を大切にすることの重要性について広く学び知る場を提供した。また、講師のインスタグラムからもPRされたことにより、「岐阜市女性センター」を広く市民に認識される機会を得た。それにより、新規受講者が約70%、そのうち10～50代が85%と次世代に繋がる講座となった。

・ハートフルネットぎふ例会

男女共同参画社会の実現に向けて、女性センターを利用している市民団体を中心に、毎月第2木曜日に集い、最新の話題や発行・発信された情報を基に、会員同士意見交流を行った。より活発な意見交流を図るため、今期は会員がファシリテーターを務め、「若者が感じるジェンダーギャップ」や「共同親権」等をテーマにグループワークを行った。また各団体の活動について情報交換を図り、他団体とのネットワーク形成に努めた。

・情報機能

・市民への情報発信

InstagramやX(旧ツイッター)において、タイムリーな情報発信を心掛けたことで、HP・SNS発信件数は昨年度上期と比べて118%(159→187件)増加した。

内閣府男女共同参画局 仕事と生活の調和推進室がワーク・ライフ・バランスの一環として発行している「カエル！ジャパン通信 Vol.231」に、「わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座」の情報が掲載されたことで、女性センターの取り組みを全国に広く発信する機会を得た。

・複合施設の特徴を生かした情報発信

展示「岐阜市都市防災備蓄用品」

市都市防災部都市防災政策課と連携し、2階交流サロンにおいて防災トイレやデント、備蓄用品等の展示を行い、ハートフルスクエアGの特徴を生かした情報発信に努めた。また、同時期に防災関連講座を実施する生涯学習センターと協力し、展示期間を延長して市民に広く周知を図った。

・相談機能

・今年度の専門相談においては、市民ニーズを把握するため相談内容を再度見直し、全面的なリニューアルを図った。また、SNSを積極的に活用し、専門相談の空き状況をタイムリーに発信するよう努めた。その結果、専門相談件数は昨年度上期と比べて114%(127→145件)増加した。

・女性のみならず男性が相談できる場所の情報を提供するため、県男女共同参画・女性の活躍推進課と連携し、ハートフルスクエアG内の男性トイレに「相談案内カード」を新たに設置した。

・電話相談においては、「女性と社会のつながりサポート事業」と連携しながら、より専門的な支援先へ繋げるよう努めた。

・複合的な問題を抱える女性をより適切な機関につなげられるよう、関係機関とケース検討会を実施し、更なる連携強化を図った。

<p>前回までの意見の取組み状況</p>	<p>●所管課の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 女性センター: 様々な課題や困難を複合的に抱える女性を適切な機関につなげることができるよう、関係機関とのケース検討会の実施などにおいて連携体制をより強化していけるよう期待する。 ⇒ 関係機関とケース検討会を積極的に実施して連携強化を図った。また、適切な機関に繋げられるよう職員研修を実施するとともに、関係団体とのネットワーク構築に努めている。 ● 文化振興係: 効果的な情報発信を実施しながら、作品募集や成果物、アンケート等のDX化を進めるなど、長い歴史のある市民文化祭がより充実した内容になることを期待する。特に、文芸祭の表彰式や作品展では、多くの人が集い、文芸への関心を高めるような内容、企画を期待する。 ⇒ 文芸祭では、一般の部の申込方法にハガキでの申し込みに加え、岐阜市のLogoフォームを活用してDX化を推進した。また、芸術祭と連携し、一般の部の展示に合わせて演劇シーズンの展示を同時期に開催するほか、邦舞の部公演のPRを兼ねたプレイベントの前に開催する準備も進めている。 ⇒ 美術展において、ぎふメディアコスモスと岐阜市民会館の2カ所での開催に向け、各施設と連携を取りながら開催準備を進めている。また、アンケート等のDX化についても準備を進めている。 <p>●指定管理者評価委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あんしんつながりステーションはリピーターもおり業務の負担は大きいと思うが、素晴らしい役割を果たしていると思う。 (女性) ⇒ 不安を抱える女性が気軽に訪れ、安心して相談できる場所となるよう努めた。また、リピーターの継続的な支援を行うため、行政機関やNPO法人との連携体制を強化している。 ● 講座については、オンデマンドでの提供や複数会場での開催などを検討してはどうか。 (学習・女性) ⇒ 下半期に実施する講座において、本会場以外にも市内の他施設にサテライト会場を設け、ライブ配信ができるよう調整を図っている。
<p>今後の取組み</p>	<p>生涯学習センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習拠点施設としての機能を生かしながら「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく「現代的課題に対応する生涯学習講座」を企画し事業の充実を図る。下半期においても、カスタマーハラスメントやグリーフケアなど、世間や生涯学習で注目されるテーマも含め、講座を企画する。 ・ 生涯学習・ボランティア活動に係わる相談及び活動支援において、団体や個人の声に耳を傾け、活動継続の助けとなる情報の提供に努める。 ・ 生涯学習・ボランティア活動に係わる相談及び活動支援において、継続して受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、交流センターと多様な面で連携を深めることで、中間支援組織としての機能の拡充に努める。また、地域活動情報システム「まなバンク」を活用して、地域人材の活性化に努める。 ・ 研修や講座に積極的に参加するなど職員一人一人の資質向上を図り、生涯学習・ボランティア相談業務および活動支援の充実に努める。 ・ 地域づくり、まちづくりの推進役となる人材を育成するため、「市民講師養成講座」と「市民自主講座」を実施し、市民がこれまで培ってきた知識や技術、能力を生かして活動する講師の養成と活躍機会の充実を図る。 ・ 障がいの有無に係わらない学びの場を提供するため、岐阜市障がい福祉課や特定非営利活動法人ぎふ難聴者協会等と協力し、手話通訳やパソコン要約筆記、音声認識アプリ、音声ガイドなどを取り入れた講座の充実を図る。 ・ より多くの市民に講座を受講していただくため、本会場以外にも市内の別施設にサテライト会場を設け、講座のライブ配信を実施する。 ・ 美術展において、ぎふメディアコスモスと岐阜市民会館の2カ所での開催に向け、各施設との連携を図りながら取り組む。また、DXによるアンケートも行う。 ・ 芸術祭においては文芸祭と連携し、文芸祭・一般の部の展示期間と同時期に演劇シーズンの展示を開催するほか、表彰式前には邦舞の部公演のPRを兼ねたプレイベントを実施する。 ・ 昨年度の岐阜市芸術文化奨励賞受賞者による記念展示を11月に開催予定。同賞のPRと併せ、岐阜に在住する将来性のある芸術家を紹介し、市民の文化芸術への興味関心を高める機会の創出に取り組む。 ・ 10月14日から国民文化祭が開催されることを踏まえ、市民文化祭(美術展、芸術祭、文芸祭)の関係者(出演団体、審査員など)と調整し、円滑な運営ができるよう準備を進める。また、独自に公演を行う、市芸術文化協会との連携を密に取り、サポートする。 <p>女性センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画拠点施設として、令和4年度に改定された「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に則り、男女共同参画社会の実現を目指した事業展開を図る。 ・ 「サード・プレイス(第3の居場所)」として、会話を楽しみ、心と身体がリラックスできる時間と空間(居場所)を提供する。また、女性センター窓口への来訪を促し、顔の見えるセンターを構築する。 ・ 相談機能を生かし、見えてきた女性の現代的課題に焦点をあてた学習事業の展開を図る。 ・ 男女共同参画の推進を図るため、団体の活動状況を把握し、女性団体が活発に活動できるよう支援に努める。 ・ 様々な課題や困難を複合的に抱える女性を適切な機関につなげるため、関係機関とケース検討会を実施して連携強化に努める。また、より一層解決に繋がるよう、様々な支援先の情報収集を行い、継続的にネットワーク体制を構築する。

●所管課の意見

生涯学習センター

- ・現代的課題・地域課題の解決へ向けた講座のほとんどが100%を超える応募率であり、大変魅力のある企画内容であると評価できる。
- ・電力デマンドの設置や、効率的な空調機器の使用に努め、光熱水費の節約に努めている。
- ・施設の日常点検及び定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために努めている。
- ・オンデマンド講座やサテライト会場のライブ配信の検討など、前回の評価委員会の意見を踏まえた施策がとられている。
- ・生涯学習・ボランティア相談担当職員3名が新たにボランティアコーディネーション力3級を取得するなど職員資質向上に努めている。

女性センター

- ・「わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座」では、多様な分野に女性が参画できるよう防災に焦点をあてたテーマを選定し、岐阜市都市防災部との連携した講座や、岐阜市防災備蓄用品の展示を企画されたことは評価できる。女性の視点から安心安全な避難所運営を自分事として捉えられるよう、毎回ワークを通して学ぶ場を提供することができた。
- ・今年度は市民のニーズに沿った相談事業を実施できるよう専門相談を全面的にリニューアルし、SNSでのタイムリーな発信を実施した結果、相談件数も増加したことは評価できる。
- ・男女共同参画週間に実施された講演会では、新規受講者が約70%を占め、「女性センター」の認知度の増加に貢献することができた。
- ・「女性と社会のつながりサポート事業」では対面相談を重視するため、電話相談を廃止した結果、相談件数は昨年度と比べると減少となったが、今後も、様々な課題や困難を抱える女性に寄り添った支援ができるように、関係機関との連携強化に努めていけるよう期待する。

文化振興係

- 文化振興業務は、市民及び文化芸術団体との協働により事業が進められており、上期は主に市民文化祭の開催に向けて準備をした。
- 芸術祭の演劇部門では、キックオフイベントの実施、国民文化祭の演劇の祭典との連携・調整によって、本番に向けて盛り上がりつつ準備を進めた点が評価できる。
- 文芸祭では、今年から新たに作品募集でLogoフォームを活用したことで、申込者の負担軽減を図ることができ、出品者数増につなげることができた点が評価できる。
- 美術展覧会においては、今年も企画展を実施したことや、新たな取り組みとして金華橋通りのガードレールに許可を得て看板を設置するなど、告知に創意工夫を凝らした点が評価できる。また、例年の文化センターと異なり、みんなの森ぎふメディアコスモスと岐阜市民会館の2会場開催に向けて、円滑に事業が実施できるよう準備を進めた点が評価できる。
- 今後も効果的な情報発信を実施しながら、長い歴史のある市民文化祭をより多くの人に参加いただけるよう盛り上げていきたい。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・管理運営は適正に行われている。
- ・タイムリーな講座を様々な団体とコラボレーションして開催するなど、講座内容の充実に取り組んでおり評価できる。
- ・女性の起業が増えてきていることから、女性センターで講座を開催することなどにより支援出来たら良い。